

職場における健康づくりに関する アンケート調査結果報告

～気仙沼圏域の働く世代のメンタルヘルス
プロジェクトの取り組み～

気仙沼保健福祉事務所

(働く世代のメンタルヘルスプロジェクト)

技師 岩本 萌

技師 飯田 三紀子

技師 木村 亮

技術主査 鶴若 美亜

技術主幹 粕谷 祐子

プロジェクト立ち上げの経緯

被災者の健康調査での訪問
➡ 要確認者の訪問をしても**不在**
市町保健師より

健康相談会(市町実施)
➡ ほぼ参加**なし**
市町保健師より

「職員健診は受けているが、
その後の**フォロー状況が不明**
である」
地域職域連携推進部会委員より

働く世代



「働く世代の
メンタルヘルスが
心配である」
地域職域連携推進部会
委員より

働く世代の健康状態の悪化が懸念されるが、その実態は不明

➡ **働く世代のメンタルヘルスプロジェクトを設置!**

被災地域の働く世代が抱えている健康問題を明らかにし、
地域の健康づくり対策を検討する

保健活動支援の所内推進体制

気仙沼保健福祉事務所被災者生活支援チーム



保健活動の推進組織

保健活動リーダー会議

所広報
委員会

働く世代のメンタル
ヘルスプロジェクト

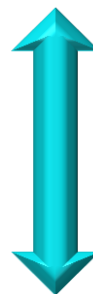
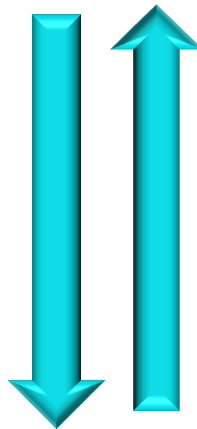
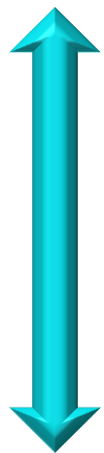
コミュニティづくり
支援プロジェクト

保健活動支援グループ

気仙沼市

南三陸町

所内各班



チーム体制

働く世代のメンタルヘルスプロジェクト

構成員 5名

成人・高齢班

保健師 1名
栄養士 1名

母子・障害班

保健師 2名

疾病対策班

保健師 1名

報告



助言

保健活動リーダー会議

気仙沼保健福祉事務所の班長等が参加

所内定例ミーティング

保健活動支援グループ、こころのケアセンター等が参加

関係機関へのヒアリング調査

地域の働く世代の状況を把握するため ヒアリング調査を実施

- 石巻労働基準監督署
- 公益社団法人宮城労働基準協会気仙沼支部
- 気仙沼地域産業保健センター

➡ ヒアリング調査の結果から得られた情報

- 震災の影響で経営状態が厳しく、健康づくりを含む安全衛生管理に余裕がない
- 小規模事業所では、健康管理が従業員個人に委ねられている傾向が強い
- メンタル面の問題は潜在化しやすく、対応が遅れて重症化している可能性がある

アンケート調査の実施

➤ 目的

震災後の気仙沼圏域の働く世代が抱えている健康課題を明らかにする

➤ 対象

平成26年12月時点で労働基準協会に加入している544事業所

➤ 期間

平成26年12月1日～12月26日

➤ 方法

郵送による自記式質問紙調査

➤ 内容

参考資料のとおり

アンケート結果

回答事業所基礎情報

回答事業所数 122事業所（回収率22.4%）

【アンケート回答者…事業所の管理者、総務課職員 等】

➤ 事業所の規模 3割以上は10人以下の事業所

50人未満	79.5%
50人以上	17.2%
無回答	3.3%

➤ 事業種別

製造業	23.8%
建設業	23.0%
上記以外	48.4%
無回答	4.9%

1 事業所の被災状況

流出・全壊

一部損壊

影響なし 無回答

49.2%

27.9%

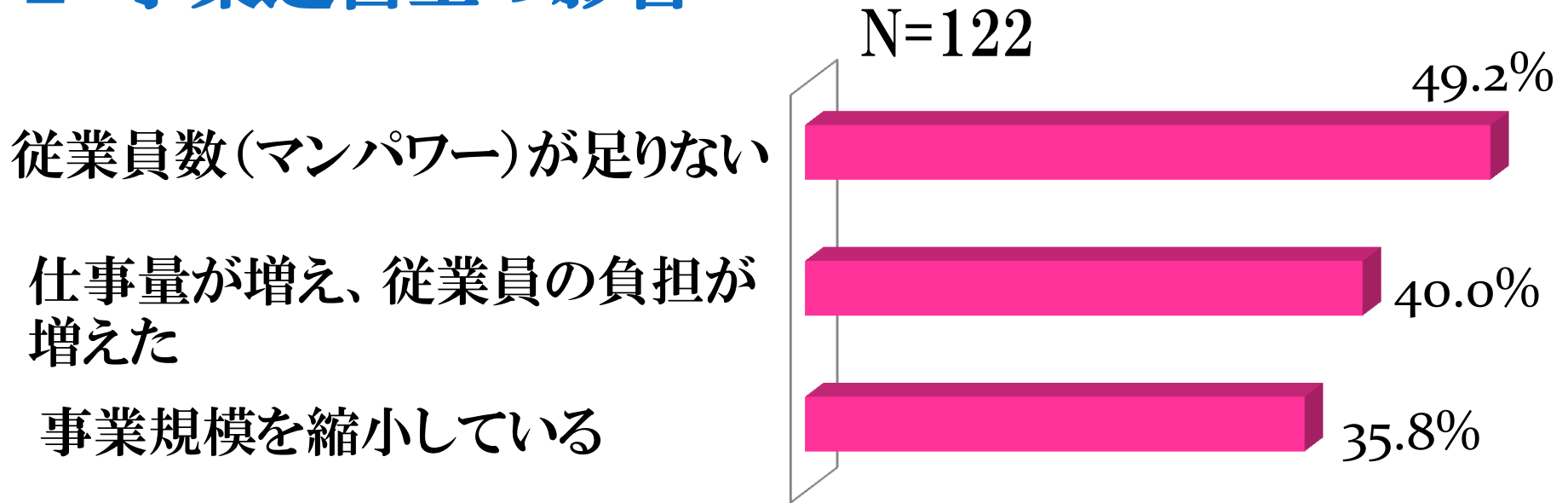
22.1%

0.8%

N=122

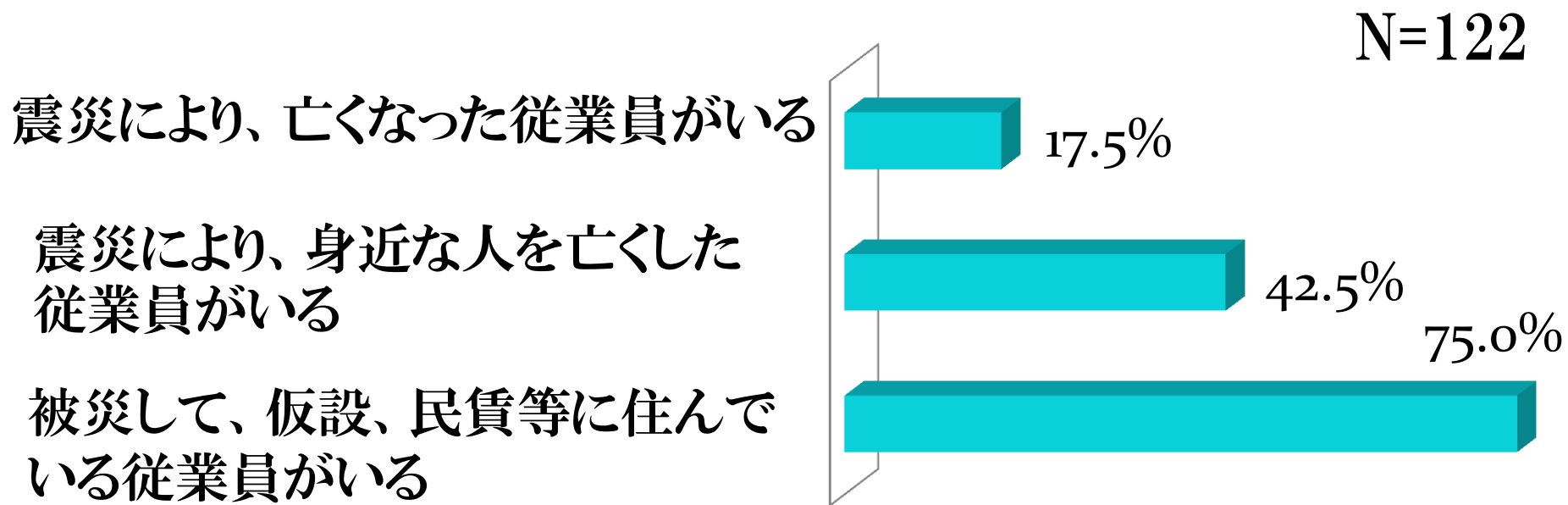
- 8割近くの事業所が被災しており、震災の影響を強く受けていることがわかる

2 事業運営上の影響



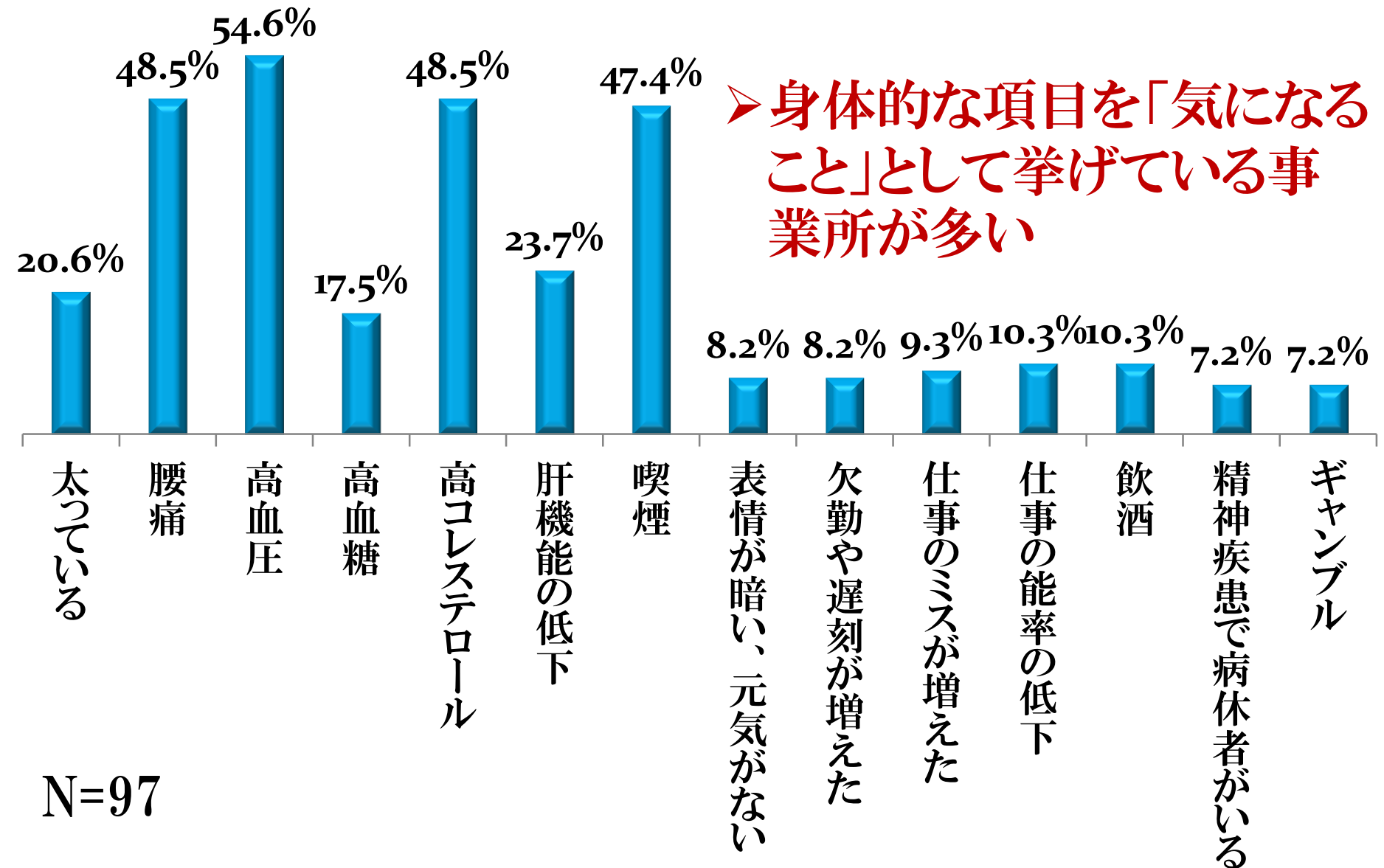
- **人手が足りず、従業員の負担が増加。**
経営上の打撃を被っている事業所が多く、賃金等、**経済的な影響**を受けている従業員も多いと考えられる。

3 従業員の被災状況

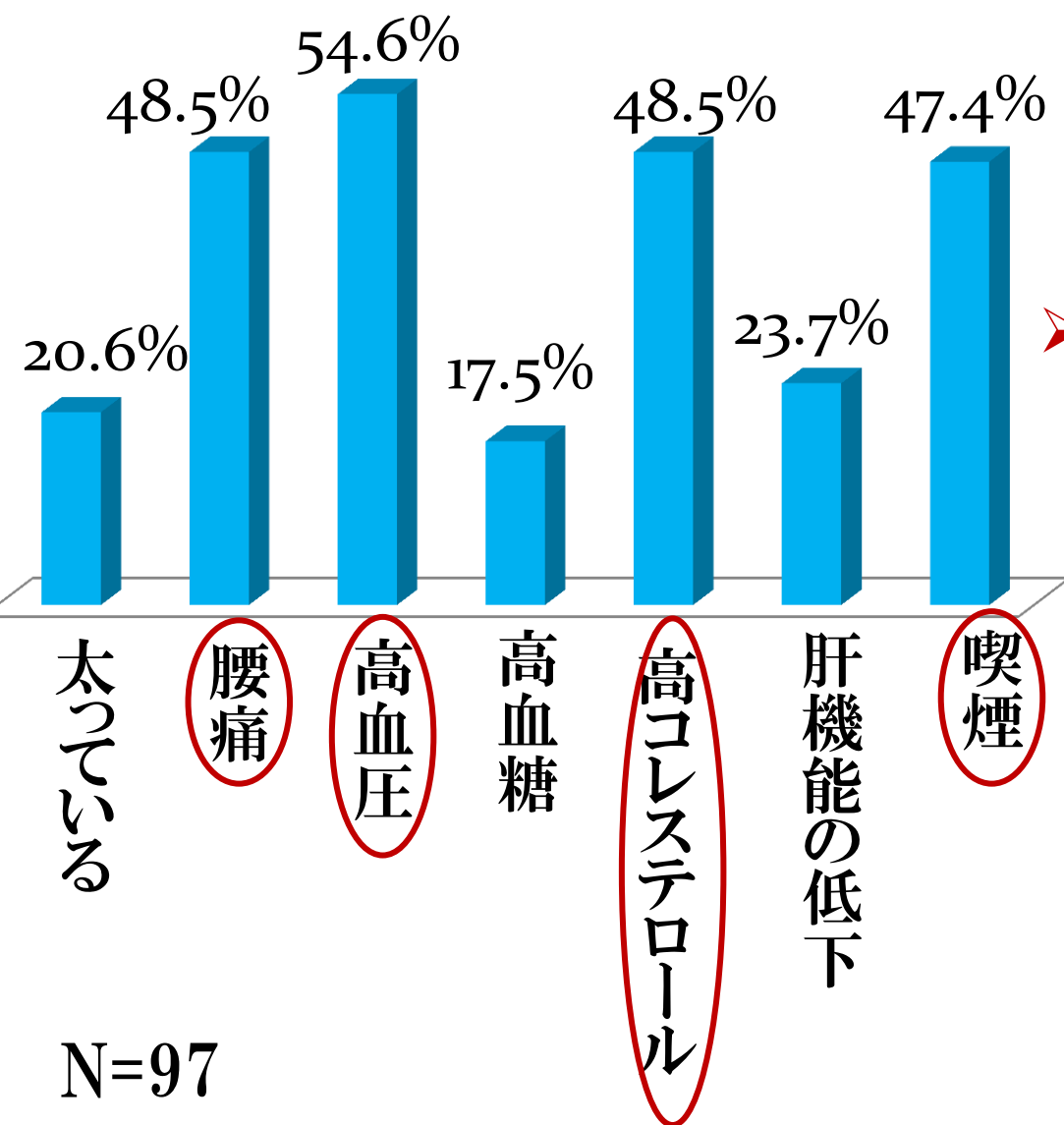


- 生活環境が変わった従業員、身近な人の喪失を経験している従業員を抱える事業所が多い

アンケート結果 従業員の健康・生活習慣で気になること



アンケート結果 従業員の健康・生活習慣で気になること

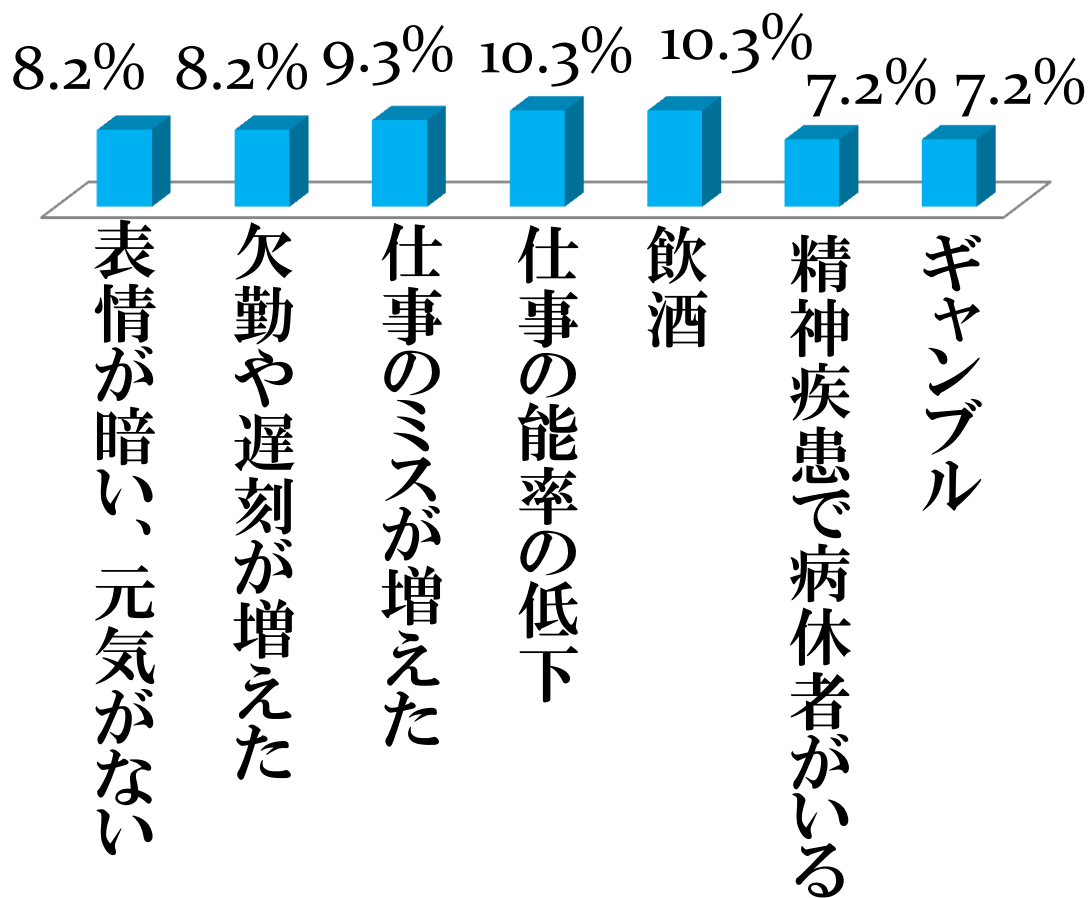


➤ 「高血圧」「腰痛」「高コレステロール」「喫煙」が気になっている事業所が多い

アンケート結果

従業員の健康・生活習慣で気になること

N=97



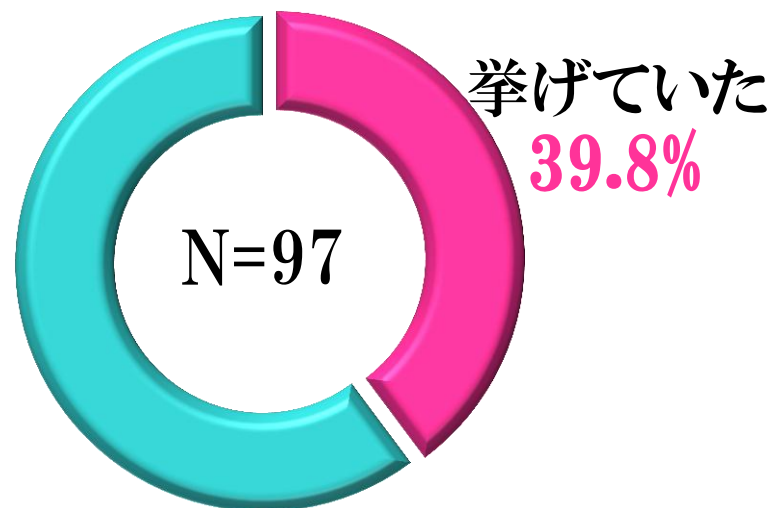
➤ **メンタル面のそれぞれの項目について「気になっている」と回答した事業所は身体面に比べると少ないが・・・**

アンケート結果

従業員の健康・生活習慣で気になること

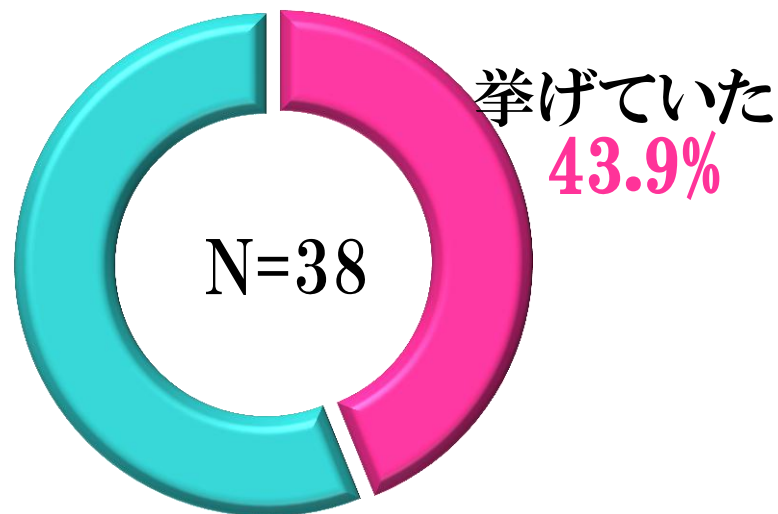
メンタル項目のいずれか一つでも挙げていた事業所

気になること



挙げていない
60.2%

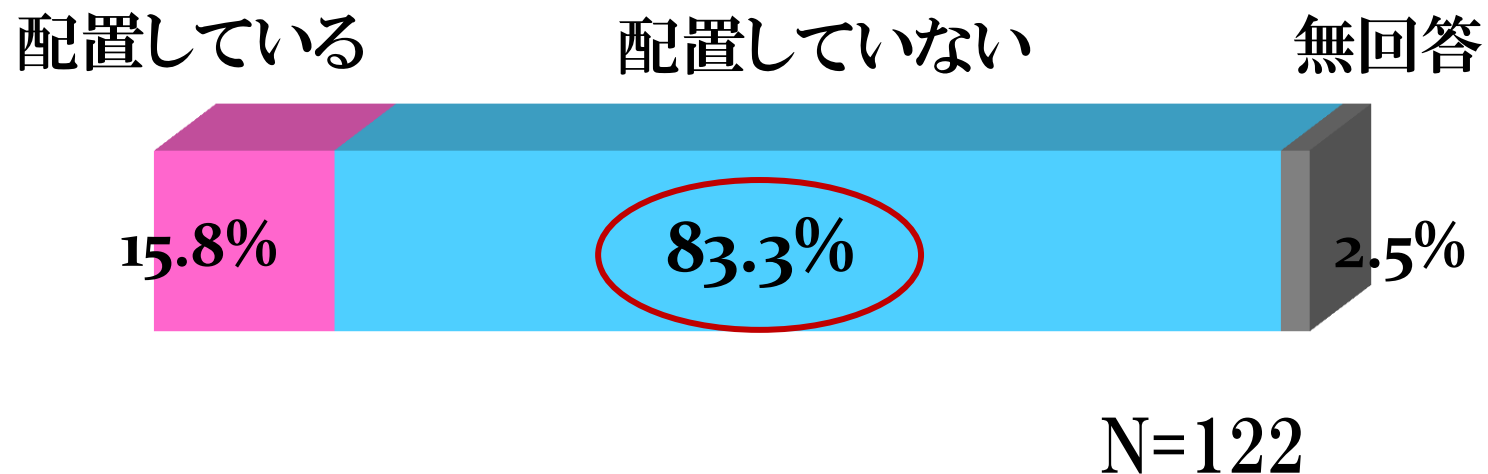
震災後に増えたこと



挙げていない
56.1%

➤ **メンタル面の項目が気になっている事業所も少なくない**

1 健康づくり担当者の配置

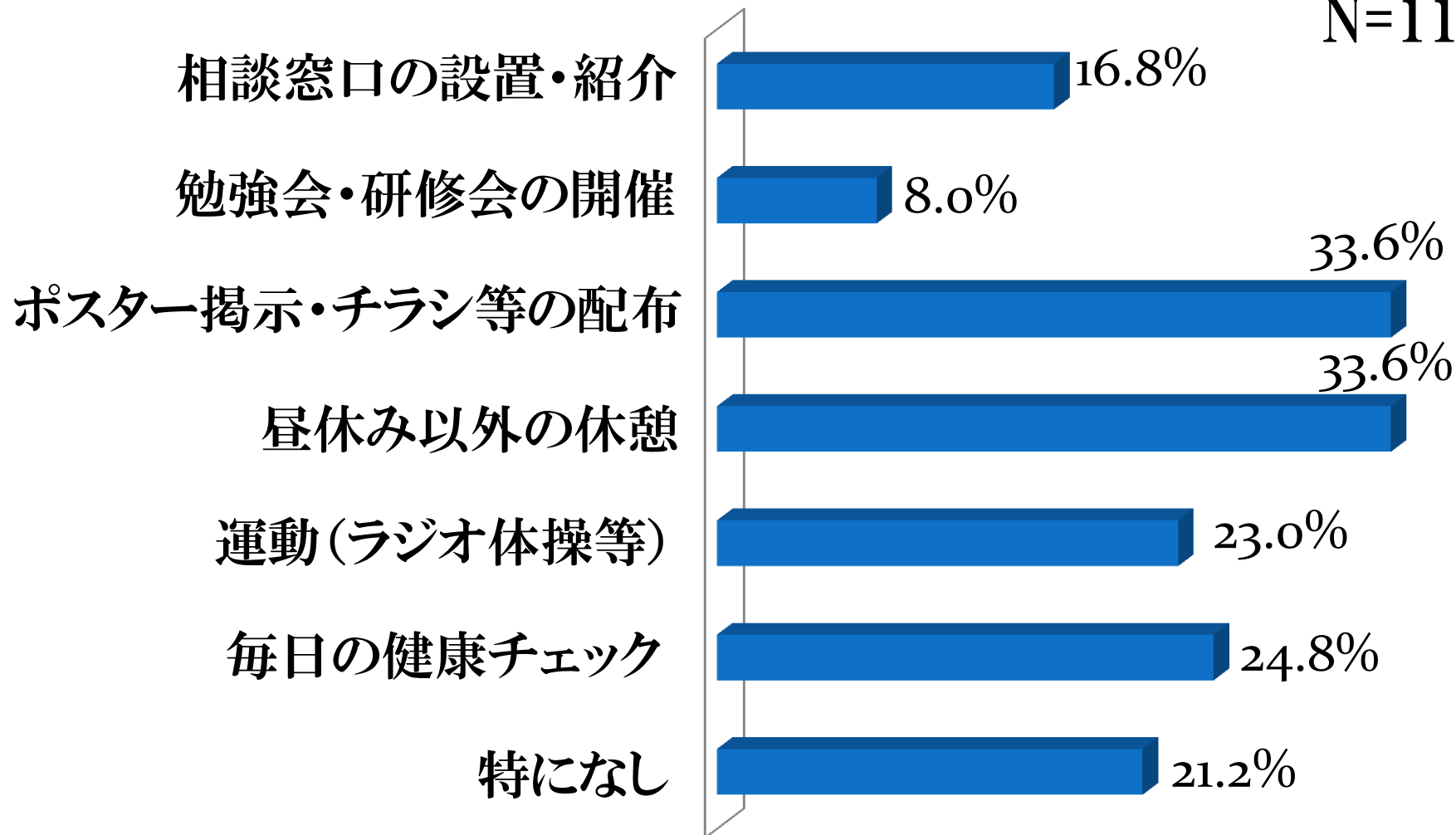


➤ 健康づくり担当者は、あまり配置されていない

アンケート結果 健康づくりの取組状況②

2 健康づくりで取り組んでいること

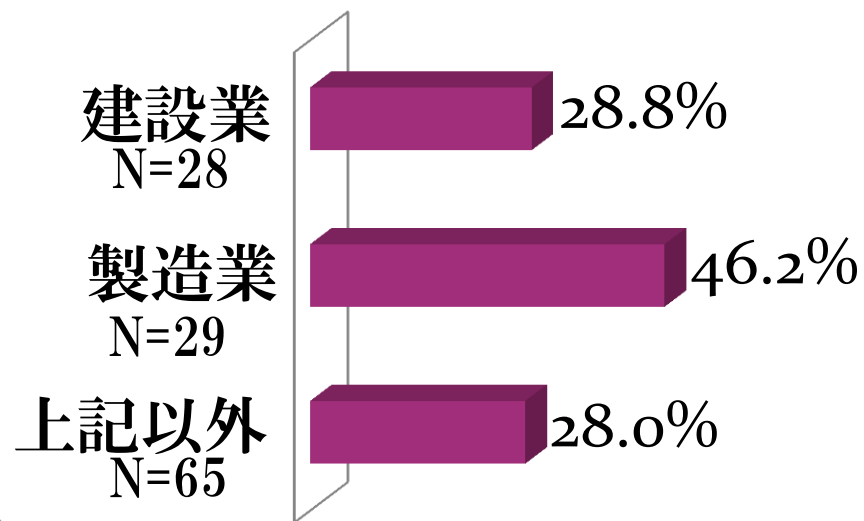
N=113



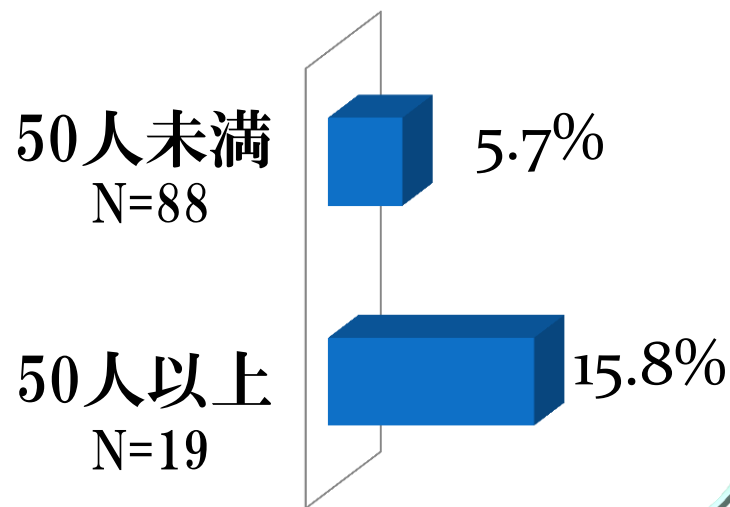
➤ 8割の事業所が何らかの取り組みを行っている

アンケート結果 健康づくりの取組状況③

「ポスター掲示、チラシ配布等」を行っていると回答した事業所



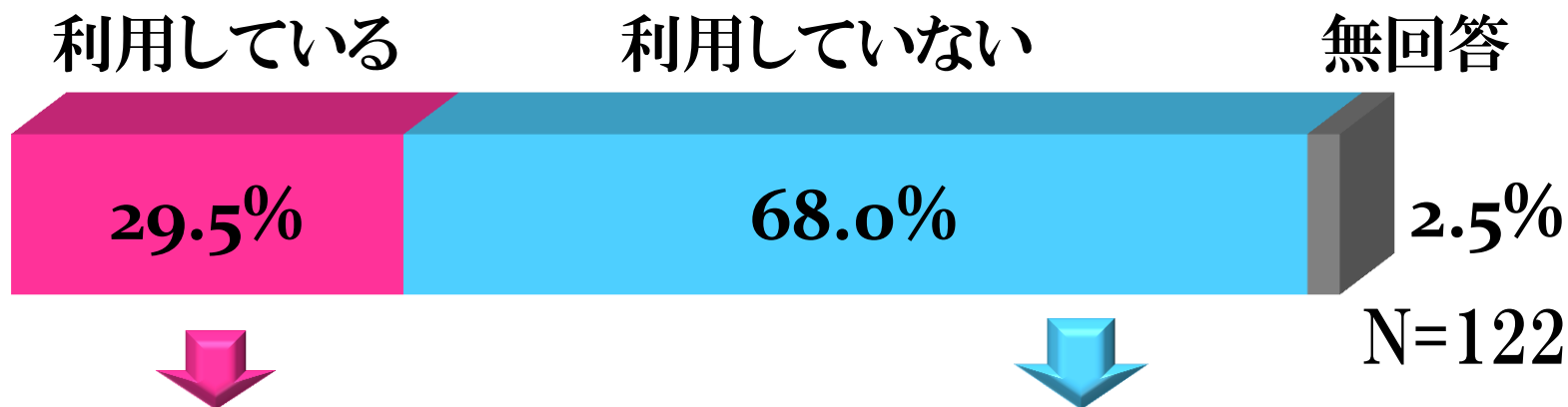
「勉強会・研修会の開催」を行っている事業所



➤ 事業種別や事業規模によって、健康づくりの取り組み内容や実施率に差がある

アンケート結果 健康づくりの取組状況④

3 従業員の健康に関する相談・支援機関の利用について



産業医・医療機関	12事業所
協会けんぽ等	8事業所
産業保健センター	7事業所

必要性を感じない	26.5%
相談先を知らない	19.3%
その他	34.9%
無回答	19.3%

➤ 約7割の事業所が「利用していない」と回答。
相談先を知らない事業所も多い

アンケート結果

従業員の健康づくりのために支援してほしいこと

普及・啓発の 強化	ストレスチェックの取り組み（手法・評価方法など）を広めてもらいたい
	たばこの禁煙運動をもっとやってほしい
	職場で取り組みやすい健康づくりの情報を定期的に発信してほしい
	ポスターがあれば貼りたい
福利厚生 の充実	様々な健診を受ける機会及び費用助成等、受けやすい環境への支援を望む
	屋内運動施設を増やし、使用方法の簡便化及び就業後利用できるよう時間を延長してほしい

（一部抜粋）

まとめと考察1 気仙沼圏域の働く世代の状況

仕事の
増加

再建

身近な人の喪失

仮設・民賃での
窮屈な暮らし



震災により、働く世代は
日常生活全般で様々な
ストレスに曝されている

働く世代のメンタルヘルスの
悪化が懸念

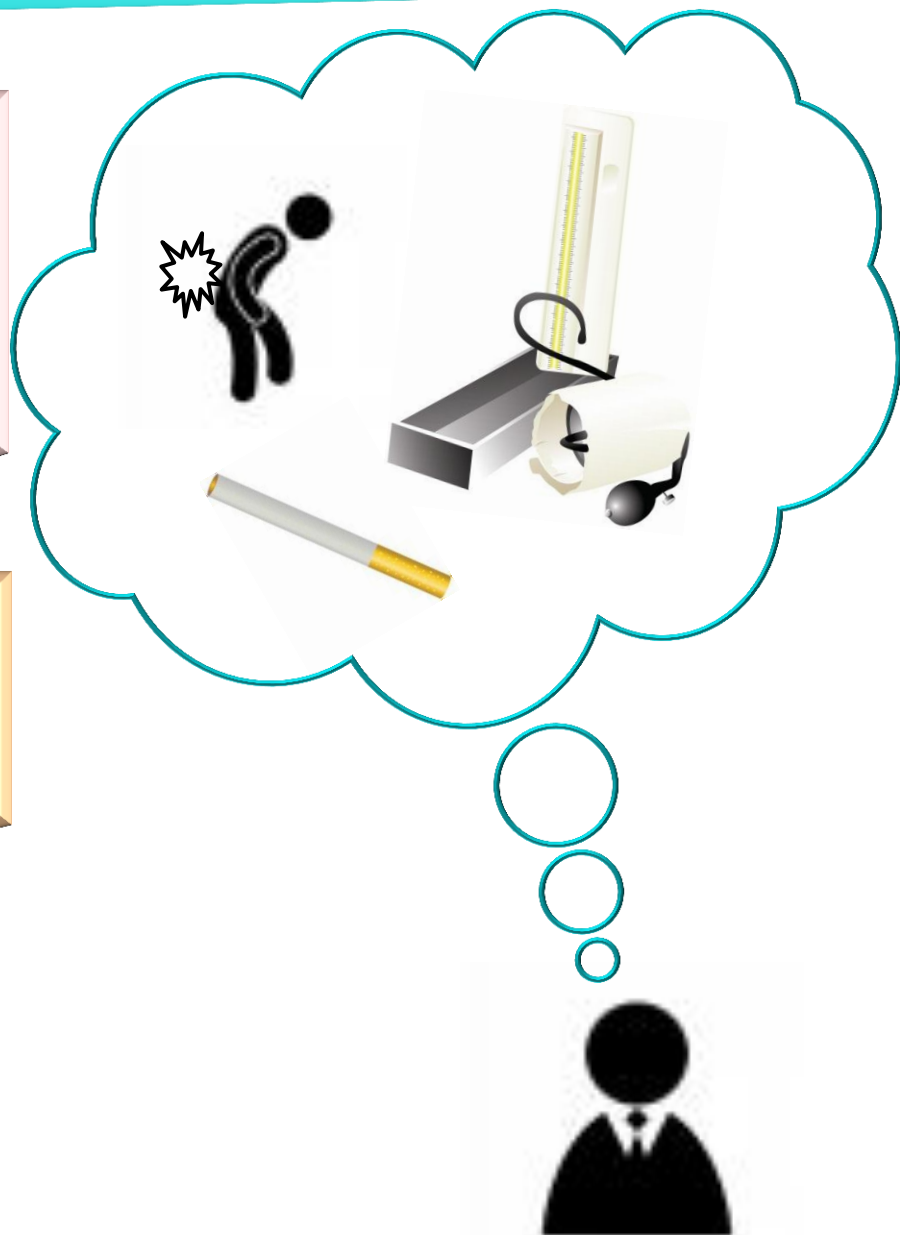
地域職域分野において、ネット
ワークの強化とメンタルヘルス
対策の検討が必要

まとめと考察2 身体面の健康問題

「高血圧」、「喫煙」、「腰痛」
「高コレステロール」について
「震災後増えた」と回答している
事業所が多い

震災後の生活環境の変化
により悪化・顕在化している
可能性がある

関係機関とともに保健指導等
の強化、対策の検討が必要



まとめと考察3 健康づくりの取り組み

8割の事業所が健康づくりについて何らかの取り組みを行っている

健康づくりに対して意識・関心がないわけではない。
現在の取り組みや事業種による特徴を考慮して、対象にあった支援を展開していく必要がある。

「従業員の健康に関する相談・支援先を知らない」と回答した事業所が多い

地域の社会資源等について情報発信を強化していく必要がある。

健康づくりのメール配信を希望した事業所に対し、当所から情報配信を行う予定



結論

- 関係機関へのヒアリング及びアンケート調査から、震災後の気仙沼圏域の働く世代が抱えている健康課題や職域分野の取組状況が見えてきた。
- これまでの活動を通して、職域分野の関係機関との関係性を深めることができた。

今回の調査結果を地域の関係機関に報告し、具体的な取り組みについて共に検討していく。

働く世代のメンタルヘルスプロジェクトはまだ活動途中ですが、
まずは第1報としてアンケート調査結果についてご報告させて
いただきました。



ご静聴ありがとうございました

